

416作業床、歩み板を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	9~10	工場にて、見回りをしていた際、天井の養生を確認していたところ、床に置いていたバラスト注水用のホースに躓き、右斜め後方に転倒した。その際、右手首を床につき負傷した。	51	2	11501	1~9
2	2017	12	13~14	年末の大掃除を実施中に、普段より多くの物品が通路周辺に置かれていた。集塵機の扉を洗浄した水が床にこぼれたため、床のモップがけを行っていた。被災者がその場所を通ったとき、滑って転倒し受傷した。	47	2	10109	300 ~ 499
3	2017	12	21~22	当社1階ロビーにて、タオルが入ったカゴ（幅約40cm、重さ約1kg）を運ぶ作業中、当日は雨で床が濡れていたため、履いていたスリッパが滑り、転倒した際に左足の膝をつき骨折した。	64	2	140101	10~ 29
4	2017	12	12~13	食堂にて、シンク前で振りかえった際に転倒した。	40	2	140101	10~ 29
5	2017	12	10~11	客室清掃作業時、ベッドメイキングの最中に、ベッドのシーツやピローカバーを抱えて回収しながら移動した際、体勢を崩して転倒し、咄嗟に右手を床について体を支えようとして負傷した。	46	2	140101	30~ 49
6	2017	12	17~18	市場内従業員点呼場（控室）で躓いて倒れた。	55	2	40301	10~ 29
7	2017	12	11~12	3階フロアにて、展示物の調整のため、高さ30cm程の什器に靴を脱いで上がり、作業後、靴をはこうとした際に、乗っ	30	2	170101	—

				た什器の台が滑りやすかったこともあり、足を踏みはずし、転落して足を骨折した。				
8	2017	12	15~16	デスクにて着席した状態で事務処理作業中、自分自身で引き出した封筒入れの机の引き出しを元の位置に戻さず立ち上がり、引き出したままになっていることを忘れ歩き出し、そこに腰元が引っかかり転倒してしまった。その際、股関節を骨折してしまった。	63	2	10104	30~ 49
9	2017	12	16~17	利用者様宅裏において、デイサービスより帰宅した利用者様を玄関より車椅子にて居室まで移動する介助の際に、敷物のカーペットにつまずいて転んでしまい、第12胸椎を圧迫骨折した。	70	2	130201	10~ 29
10	2017	12	11~12	他工程の応援からパンニング室に戻り、帳票類がある作業台で書類を確認し作業に戻る際に、台車にのった冷生地番重の脇を通ろうとした際に、台車に足が引っかかり転倒し負傷した。	58	2	10104	500 ~ 999
11	2017	11	14~ 15	納骨堂1階を清掃中、転倒した。	49	2	170209	1~9
12	2017	11	13~ 14	厨房内の井場で作業をしていた際、後方に行こうとしたら床のグレーチングで足が滑り慌ててカツフライヤーの縁に掴まったが、油で手が滑りフライヤーの中に手が入って火傷してしまった。	20	11	140201	30~ 49
13	2017	11	16~ 17	当社ガレージ内を移動中、敷鉄材の段差で誤って躓き、足を捻った際に右足関節を捻挫する。	66	19	170209	30~ 49
14	2017	11	16~ 17	事務所敷地内にて、トラックからコンプレッサーを降ろしている最中に足元にあった小さな木材を踏んで、足首を捻った。	34	19	30209	1~9
				建物3階スラブ上で、返し型枠の段取りの為、型枠材を両手で				

15	2017	11	15～ 16	運んでいる時に、スラブ鉄筋上にメッシュロードが敷き込まれていない状況下であった。スラブ鉄筋上を歩行中に、スラブ鉄筋に躓き転倒し、腰をコンクリート床に強打した。	70	2	30201	1～9
16	2017	11	18～ 19	店舗内において商品の販売を行っていたところ、テーブル（揚げ物を置く台）の角部に右足を引っ掛け転倒し、その時左手を床に強打し負傷した。	66	2	80209	1～9
17	2017	11	8～9	ピット内にて、天井、壁の補修作業をしている時に、ピット内脇を歩行中の作業員が、作業区画用の単管バリケードにぶつかり単管バリケードがピット内に転落し、ピット内で左官作業をしている被災者の首から腰にかけて単管バリケードが当たり負傷した。検査入院後、軽作業にて現場に出ているが、年のせいか肩の痛みが取れない。	49	2	140209	1～9
18	2017	11	11～ 12	当社肉加工室において、肉のカット作業中、作業用まな板（高さ約90cm）上で、立ち位置の右先方にある自分の担当工程が終了した肉（カット済）を左側で作業する自分の次工程担当者側に移動させようと体の向きを変えたところ、足元が滑ってバランスを崩して尻餅をつく形で後方に転倒した際に腰を強打したため、受傷したものである。	53	2	10101	50～ 99
19	2017	10	14～ 15	運動会に参加時、マシュマロキャッチ競技中に使用していた粉が床に落下していたため、右足を滑らせた。右側頭部から倒れそうになり咄嗟に床に右手をついた。その時、右手首に激痛が走り、腫れた。	58	2	170101	10～ 29
20	2017	10	19～ 20	足を滑らせて手をつき転ぶ。その際、骨折した。	69	2	140201	10～ 29
21	2017	10	11～ 12	倉庫内作業場にて、長尺バタ角等整理整頓片付のためまとめようとしていた折、敷鉄板段差（2～3cm）に左足つま先が引っかかり左身下に転倒し左すねを骨折した。	72	2	80109	1～9
				当社内事務所下廃材置き場において廃材の分別仕分けを行っ				

22	2017	10	9～ 10	ていた。左足を廃材上に載せた際、足場が悪くバランスを崩し廃材上に倒れた。その下にあったアンカーボルトに接触し引っ掛けた状態で負傷したものの。	66	2	30309	1～9
23	2017	10	16～ 17	清掃現場のハウス内女子風呂脱衣場の浴場入口付近にて、床に敷いた藤のマットを移動させ清掃用長靴を履こうとした際、濡れた床で左足が後ろに滑りお尻から転倒した。この時左の筋が伸び膝を負傷した。	68	2	150101	300 ～ 499
24	2017	10	11～ 12	集積場所にて収集作業を行っていた。収集現場にて、集積場所からごみを両手に持ち、収集車に運ぶために移動しようとしたところ、歩道にあった窪み（コンクリートがえぐれていた）に気付かず右足がはまっていまい、そのまま自分の体重をかけて捻ってしまった。その瞬間に右足首に激痛が走り、時間とともに腫れが酷くなってしまった。	45	19	150103	50～ 99
25	2017	10	17～ 18	担当・顧客のお宅で、長時間の正座をしており、立ち上がった際に体勢を崩し、転倒し、左足を捻ってしまい骨折。	38	2	90103	300 ～ 499
26	2017	10	16～ 17	派遣先事業所において、商品補充の作業中に床に置いてあった、平台車に取りつけてあったビニール紐を踏んだ事により転倒し、右頬、右手、右膝を床に打ち付け右膝骨挫傷の怪我をしてしまった。	35	2	170101	30～ 49
27	2017	10	17～ 18	当園保育室内に於いて、延長保育をしていた時、園児を抱っこして前に座らせようとした際、足がつまずいて前のめりになり両膝をついて転倒し、強打した為、右膝蓋の部分を骨折してしまった。	54	2	130201	30～ 49
28	2017	9	12～ 13	ちんすこうの材料を台に乗り成型機に入れる際、バランスを崩し倒れ右手中指に体重がかかり骨折したものである。	24	2	10104	50～ 99
				精肉加工場において、被災者が鶏肉加工作業中、トレーを取				

29	2017	9	10～ 11	る為に移動する際、床がぬれておりさらに肉片が落ちている場所を踏んでしまい誤ってすべって転倒、右足をひねり負傷した。	56	2	80209	30～ 49
30	2017	9	12～ 13	本社工場入口手前のエアシャワー室にて、エアシャワー中に足を滑らせバランスを崩し、進行方向のドアと右手側の壁の間に右手をついた際、右手小指を負傷した。	55	3	10109	50～ 99
31	2017	9	13～ 14	厨房内を歩行中、グリストラップの鉄板床で滑ってバランスを崩し、右足首を捻った。	66	2	140201	30～ 49
32	2017	9	23～ 24	清掃中、厨房床下にあるグリストラップを清掃しようと鉄板のフタを持ち上げたところ転倒、清掃の為床に水を撒いており滑ってしまった。左足がグリストラップに入っており、フタと床の間に左手親指あたりを挟み出血、後日、骨折していることも判明した。	43	2	140201	10～ 29
33	2017	9	10～ 11	当社工場内で、水圧転写機の点検中に、機械の下の床が濡れていて、足を滑らせて転倒し、右腕の手首周辺と腰を打撲した。	57	2	11209	10～ 29
34	2017	9	2～3	到着業務での逆走中、引き漏れの荷物を対岸の引き込みローラーに押し込もうとした際に、ステップ上でバランスを崩し右足を外側に若干捻った状態で着いてしまい、小指付近に体重がかかり、小指の付け根付近を痛めたものである。	46	19	50101	30～ 49
35	2017	9	10～ 11	住宅資材を現場に搬入する際に足を滑らせ転倒し、右足のくるぶしを骨折した。	20	2	80209	1～9
36	2017	9	15～ 16	勤務場所のバックヤードに、保管してあった台車を取りに行った時、照明が故障中で全く視界がなく、廃棄物の一時置き場としていたバックヤードの場所に、破いたポスター（廃棄物）が置かれていた上に足を乗り上げて転倒し、後頭部を強打した。極めて軽度の内出血が認められるが、それ以外は特に異常なし。医師からの指示で、安静のため入院となっ	62	2	11303	1000 ～ 9999

				た。				
37	2017	9	10～ 11	傾斜35度くらいの場所にある傾いた木の伐倒作業中に負傷した。木の伐倒には、倒れる側の切り口（受口）とその反対側に入れる切り口（追口）をくの字入れて伐倒するが、木の立ち位置や状態が悪かったのか木が裂け、それに気をとられた為足滑らせ4m下に滑落し負傷した。この日は、小雨の中の作業で足元も黒土で滑りやすい状態だった。	59	1	60209	30～ 49
38	2017	8	10～ 11	当社倉庫で片付け中、棚の上の道具箱を下ろそうとして、バランスを崩して転倒し、道具箱（約10kg）が左手甲に落ちて負傷した。	25	2	11209	1～9
39	2017	8	15～ 16	作業場にてプレハブの撤去作業中に、敷地内のマンホールに足が引っ掛かり転倒し、右足首を痛めた。	66	2	30309	1～9
40	2017	8	21～ 22	退勤直後、着替えを済ませ、就業場所の控え室を出て、エレベーターに向かう途中の廊下床面で躓き、前のめりに転倒し、左肘・右膝・左肩を打撲した。発生場所の廊下には段差はなく、フラットな状態であった。	68	2	150101	50～ 99
41	2017	8	14～ 15	工事現場の法面で植生作業中、ハチが飛来し、咄嗟に法面を駆け下りたときに左脛を捻り、骨折した。	21	19	30106	1～9
42	2017	8	10～ 11	式場にて電飾名札の差し込み中、3段ある生花の一番上の長い脚へ差し込むとき、後方へふらつき倒れた。後方には幕が引かれており、幕で体は支えられたが、そのままずると下に下がった。その際、身体を支えるために左手が先に床につき、骨折した。	61	2	170209	30～ 49
43	2017	8	10～ 11	利用者の入居施設へ訪問した際、玄関で靴を脱いでいたとき、管理者が来たので挨拶をしようとしたところ、バランスを崩して転倒し、右肩を強打し、左膝もぶつけた。	68	2	130201	100 ～ 299

44	2017	8	9~10	清掃現場の洗濯スペースで、洗濯機に汚れたモップを入れていた。モップを入れた重いバケツを持ち、振りかえった際に濡れた床で足を滑らし、横に置いておいた台車に反射的に手をついた。その際、台車が勢いよく動いたため床に転び、右肩と右胸を強く打ってしまった。	60	2	150101	10~29
45	2017	8	16~17	庭の樹木剪定作業中、隣との境界の竹を切るためフェンス（高さ1.2m）を乗り越えた時、ズボンの裾がフェンスの針金に引っかかり体のバランスをくずして落下した際、右足ふくらはぎから出血しており、すぐに救急車で病院に搬送され診察の上、入院となる。	20	1	30199	1~9
46	2017	7	15~16	施設内にて、利用者様をベッドから車いすに移乗する際に、抱きかかえていた状態からバランスを崩したため、靴が滑り、利用者様を支えきれず、両膝をひねって転倒した。これにより右くるぶしを負傷した。	50	2	130201	10~29
47	2017	7	9~10	廃棄物の回収場所（敷地内）にて、廃棄物を回収するため収集車から降りた際、着地した地面のコンクリートが割れており不安定になっていたため、右足首を捻った。	37	19	150103	30~49
48	2017	7	13~14	洗い場で転倒し、その際に受け身を取れずに腕から落下し、左腕を骨折した。（洗い場の床が水と油で滑りやすくなっていた。）	25	2	140201	50~99
49	2017	7	9~10	住宅新築工事において、プレハブ倉庫の解体作業中、イス（42cm位の木製）に乗って、天井のネジをはずしていたところ、古いイスだったため足が折れて落下。たいしたことはないと思い、湿布を貼っていたが、痛みがひどくなったので、帰社し、その後帰宅して、左足小指骨折とわかった。	62	1	30202	1~9
				被災者は、蒸しラインにて紙敷きの作業をしていた。切り替えのため、ゴムベラを持って仕込み場へ移動し、ゴムベラを洗い終わって元の作業現場へ戻ろうと左に体を反転させた				500

50	2017	7	10~11	際、左足をグレーチングで滑らせ、転倒し被災した。また、被災者は膝の調子がもともと良くなく、下半身の筋肉の衰えを自覚しており、踏ん張りが利きづらい状態であった。	60	2	10104	~ 999
51	2017	7	14~15	フードコート内のフリーザー、クーラー内の清掃中2名で作業、フリーザーの氷を溶かして、汚れを落とす掃除をしていた。お湯で氷をとかし、モップで水をかき出してたが、水がだんだん凍りはじめて、作業中に滑ってしまい転倒。フリーザー内は本人、クーラー側にはもう1名でこの人が発見。本人はモップを持ってたため顔から転倒、右肩の上を切り3針縫う。静脈が切れてるとの事で、2週間の安静、右顔半分も腫れて来た。	34	2	80201	300 ~ 499
52	2017	7	16~17	負傷の3ヶ月前に自宅で左足の皿の負傷しており、左足をかばって生活をしていたが、調理場でテーブルを拭いていたところ、振り返った瞬間にバランスを崩し転倒し、左足太ももを骨折した。	57	2	10109	300 ~ 499
53	2017	7	16~17	屋外を含む運転士技能試験に向けた訓練を行っていたところ、めまいや吐き気等、熱中症のような症状が出たため、空調の効いた電車内で休養をとった。症状が落ち着いたものの頭痛が残った。	73	4	11509	1~9
54	2017	7	5~6	B棟居室内で利用者の起床介助中に、更に別の利用者からのナースコールがあり、その利用者をトイレへ誘導した後、前の利用者介護のため、廊下に戻る際、つまずいて転倒し、左ひざ・右ひじを強く打った。直後強い痛みがあった。レントゲンの結果、骨折はないが、腫れ・痛みがある。	55	2	130201	—
55	2017	6	10~ 11	工場入口の門辺りを放水作業中、ホースに躓いて転倒し、コンクリート地面に左膝を打った。	48	2	10109	10~ 29
			17~	出荷する荷物を台車で運んでいたところ、床に凹凸があり、				100

56	2017	6	18	台車のバランスが崩れ、荷物が落ちそうになった。それを防ぐために足に力を入れた際に痛めた。	46	19	170101	～ 299
57	2017	6	16～ 17	調理室の裏口の戸を開けて、ゴミ箱が置いてある場所で90?入りのゴミ袋に入っているゴミをゴミ箱へ入れようとした時、10cm程度の段差で足を滑らせ足首を捻り、自然と崩れ落ち、なかなか起き上がることが出来なかった。	66	2	130201	50～ 99
58	2017	6	11～ 12	湿原の中の遊歩道として敷設している木道の入れ替え作業中に、木道として使用している枕木（長さ200cm、重さ約50kg）の移動を繰り返し行っていた際に、背中に痛みがでた。	43	19	170209	1～9
59	2017	6	11～ 12	当該事業所において、被災労働者が、昼食の配膳が終わったため配膳車を引いて病棟の廊下を移動していた際、人通りが多かったため配膳車を止めて待機しており、人がいないことを確認して動き始めたところ、足がもつれてしまい転倒した。前のめりに転んで両膝を床に強打し、負傷したものである。	61	2	80209	10～ 29
60	2017	6	15～ 16	作業前の発泡スチロール置場の床が濡れており、通行した際に滑って転倒した時、右手を床について体を支えた。当日痛みはなかったが、翌日に痛み、しびれが出た。	55	2	80209	100 ～ 299
61	2017	6	10～ 11	二人一組で作業中、相手がしゃがんで作業をしている後方を通り抜けようとしたところ、相手の足に躓き転倒し、近くに設置されてるプラスチック製の容器に頭部を強打した。しばらく自宅で安静にしていたが、体調が悪化し、頸椎6番骨折との診断を受ける。	58	2	170101	100 ～ 299
62	2017	6	17～ 18	店内キッチンにて掃除をしている時、水に濡れていた床に滑り転倒してしまった。その際、右膝を強打して骨折した。	29	2	140201	10～ 29
63	2017	6	15～ 16	入浴棟で入浴介助が終わって片付けている際、床が濡れているので注意して歩いていたが、浴室と脱衣所間のステンレスの所で滑って転倒した。その際、左半身を下にして倒れて	35	2	130101	1000 ～

				左肘を床に打って捻った。				9999
64	2017	5	9~ 10	朝の積み込み時に、プラットホームとトラックの荷台の間にある15cm程の隙間に足を滑らせ落下し、左手で体を支えた際に骨折した。	35	1	80209	10~ 29
65	2017	5	11~ 12	翌日に焼く予定の穴子原料を解凍機からプラスチック容器に移し替える際に転倒し、右肩と右腕を強打した。	66	2	10102	30~ 49
66	2017	5	17~ 18	工場内を警備巡回中に足を滑らせ転倒し、頭部を床にぶつけて負傷した。その後も巡回を続けたが出血があった。	69	2	170201	500 ~ 999
67	2017	5	15~ 16	ベアリング部品の研磨作業に従事中、部品が入っていたコンテナボックスが空になったので、空箱を整理していたところ、箱に溜まっていた潤滑油（ベアリング部品に使用していたもの）がこぼれて床が滑りやすくなっており、被災者が滑って転倒した。転倒の際、左膝を捻って靭帯を損傷した。	32	2	11502	100 ~ 299
68	2017	5	10~ 11	4Fフロアにて、傘の雫で足を滑らせ、左足首を捻り捻挫した。	52	19	80209	1~9
69	2017	5	14~ 15	個人宅新築工事現場にて、屋根瓦下地の野地合板取付工事中に、野地板をロフトの位置から屋根上にいた作業員に渡していた最中に誤って足を踏み外し、2.7mの高さから転落し、体を強打してしまった。	70	1	30202	1~9
70	2017	5	12~ 13	当社厨房内で洗浄後の番重（470mm×350mm×110mm）を所定の棚に片付け作業中、棚の前の床に肉を入れるケース（570mm×350mm×90mm）が置いてあるのに気付かず、ケースに左足を引っ掛け転倒し、床に左足外側を強打した。	55	2	140201	30~ 49
71	2017	4	15~ 16	解体作業中、エスロン（プラスチック）を剥ぐため留め具をバン線カッターで切っていた時、1m位の高さから落下して右踝約10cm上を骨折した。	30	1	30209	10~ 29

72	2017	4	14～ 15	海上にある養殖場で消毒作業中、パイプとフロート（浮き）の上を歩いている時（波はなくなぎの時）にフロートの隙間に足を滑らせてしまい、体勢をくずし、手で支えようとしたが間に合わず、パイプに肩を打った。	43	2	70209	10～ 29
73	2017	4	18～ 19	仕事を終えて手洗いをしようと手洗場に行った時に、足元に敷いていたベニヤ板が雨で濡れており、滑って転んで左手をついた。	41	2	40301	30～ 49
74	2017	4	13～ 14	住宅街の路上に排出された普通ごみを収集作業中、ゆっくりと走行していた作業車の運転手から車に乗るよう促され咄嗟に向きを変えた時、舗装状態の悪い路面の段差に左足をとられ、左足首を外側へ捻った。	50	19	150103	100 ～ 299
75	2017	4	13～ 14	第三工場成形工程内で、成形後のクロスウェーブ（樹脂製で約7kg）をバリ取り→検査→積み重ねる（縦25コ×2段）作業中、高い位置の積み重ねがずれた。ずれを修正をするため、裏（通常作業と反対側）へ回り、高い位置だったため、ジャンプして修正を実施した。着地した際に右膝からバキッという音がして痛みが増していった。高い位置での作業及び身長が低い者のために作業台（高さ約30cm）を工程内に常備してあるが、被災者は使用していなかった。	51	3	170101	50～ 99
76	2017	4	5～6	本社工場厨房において、連続式フライヤーを掃除する際に油槽に溜まっている油を一時的に移しておくタンク（縦1m横1m高さ50cm底に車輪が着いた物）を本来ならば手で動かさなければいけないのに足で動かそうとしたところ転倒して負傷した。	69	2	10109	300 ～ 499
77	2017	4	16～ 17	倉庫にてアパート改修工事の準備作業中、高さ約90cmの所から降りた時に足元の段差につまずき、左足に怪我をした。	22	3	30202	1～9
78	2017	4	11～	会計のお客様の対応のため、急いでレジに向かった際、足がもつれて転倒し、床に左手をつき、左肘の骨折及び左手首の	56	2	80209	10～

			12	打撲を負った。				29
79	2017	4	21~ 22	F3ライン盛付室内のトレー洗浄機付近において使用の調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に、移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着いた。転倒した場所は滑りやすい状況であった。	68	2	10109	100 ~ 299
80	2017	3	10~11	薬害散布中に後ろ向きにホースを引っ張り、側溝に落下し左胸を強打した。	48	1	60101	1~9
81	2017	3	8~9	第1工場にて移動トロリーを動かしたところ、動作しなかった為、被災者が移動トロリーの位置が操作盤の位置にて、被災者がサーマルスイッチを投入後、動作スイッチを操作することを何度か繰り返したが動作しなかった為、被災者の指示により事務所にAを呼び行きBが向かった。Bが現場に着くと移動トロリーは動作しており、プラント側の停止位置に有った為、被災者と打ち合わせの為そちらに向かうが、本人がい無い為10分程度待つが戻らないので、又工場に戻り確認するが不明の為、工事部へ移動するも不在、その間に第1工場の者がトラバースーピットに倒れている被災者を発見し救急搬送した。	72	1	10901	10~ 29
82	2017	3	6~7	2Fキッズルームのカーペット清掃を終え、床下の靴を履こうと9cm下の靴に足を入れたところ、滑って転倒し、腰と太ももを強打し、左大腿骨を骨折した。	71	2	150101	10~ 29
83	2017	3	8~9	射出成型工場内において、キャスター付き台車（縦600×横400×高さ130mm）に載せた空箱（縦335×横335×高さ240mm）3個を積み重ねたものを持ち上げ、置場に運ぼうと右足を踏み出したところ、空箱を載せていたキャスター付き台車に乗ってしまった。その際、右足を乗り上げたまま台車が前方に滑り、左膝を床に打ち付けた。	60	2	10805	10~ 29

92	2017	2	11~12	ゴルフ場内にて、ホールを移動中、東7番ホールのグリーン手前バンカーとグリーンの間にあったスプリンクラーの窪みに気付かず、右足を取られて転倒し受傷した。	54	2	140301	~ 299
93	2017	2	17~18	1号釜で麺を茹でる時に機械を始動させても釜が動かなかつたので、釜上部の駆動部分を確認しようとステップ台を出さない状態で上に足を掛け、確認後降りようとした際、足を滑らせて転落し、2号釜のステップ台で腰部を強打し負傷した。	36	1	10109	~ 299
94	2017	2	13~14	施設2階利用者居室内の床清掃を水モップにて行い、濡れた場所をクロックスを履いて踏んだ際、足を滑らせ右足首を捻り体勢を崩し前向きに転倒した。その際手にモップを握っていたため手をつくことができず、顔面を強打した。	56	2	130201	10~ 29
95	2017	2	14~15	一階特浴室内でチェア浴槽を使用し利用者の入浴介助をしていた時、チェア浴槽から入浴用車いすに乗った利用者（総重量約72kg）を出浴させる作業中に、入浴用車いすの引手を引いて車いすを引き出そうとしたところ、足が滑り、浴槽タイル床に尻餅をつき、第11胸椎圧迫骨折したものである。	72	2	130201	50~ 99
96	2017	2	18~19	本社の会長室で、ストーブの元栓が閉まっていることを確認し身体の向きを変えた時、ストーブの下に敷いてある板が右足が引っかかり、転んでしまい、股関節を骨折した。	73	2	80209	1~9
97	2017	2	15~16	勤務地である団地内、10号棟に設置しているゴミステーション横で清掃中に、ゴミステーションの扉の金具に足を引っ掛けて躓いてしまい、そのまま中に転倒してしまう。	63	2	170209	50~ 99
98	2017	1	11~12	休憩中にリフレッシュルームでコーヒーを飲んだ後、カップを洗いに流し台へ行こうと4~5歩歩いたところ、右足が前方に滑って倒れ、左膝を床にぶつけてしまった。そのときグキッと音がし、左膝に違和感を感じたため救急搬送された。	68	2	170209	~ 299
				就業先構内駐車場にて業務終了後、自身の車のフロントガラスの氷を溶かそうとしてフロントガラスにホースで水をかけ				

99	2017	1	8~9	<p>ていた。その後、車に乗り込もうとした際に路面の水が凍っている事に気付かずに足を滑らせた。その際に右手の手のひらをつくような体勢で転倒し、肘の関節から手のひらまでの筋肉と筋を痛める形になった。</p>	62	2	170101	—
100	2017	1	16~17	<p>工場内で出荷準備中、厘木（りんぎ）を踏んでしまい、踏み外して足をひねり骨を痛めた。厘木は製品を置く枕木で必要不可欠であり、常に同じ状態にある。被災労働者はベテランで厘木の位置も熟知しており、不安全または有害な状態は無かった。</p>	40	2	10401	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。